

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

*** 岡山天体物理観測所近傍の航空写真他 (百周年記念誌資料 1-28-3)**

東京天文台 100 周年記念誌資料の整理を引き続き行っている。これらの資料は3つの段ボール箱に入っていた。今回の資料は一番目の段ボール箱に入った No. 28 と記されたアルバムの中ほどに岡山天体物理観測所の予定地近くの山々の様子の航空写真があった。そして観測所建設とは直接関係ない用水池工事の写真があった。

アーカイブ室新聞第 346 号 (2010 年 6 月 9 日) のリストに下記のように記されたアルバムの中ほどの一部である。

28) 岡山天体物理観測所建設前、建設中のアルバム、主として鴨方町、金光町の写真

写真 1 は、岡山天体物理観測所建設予定地付近を撮影した航空写真である。写真の上に硫酸紙を置いて、脚注が入れているのだが、上方では「旧山陽道」の他は判読不明である。

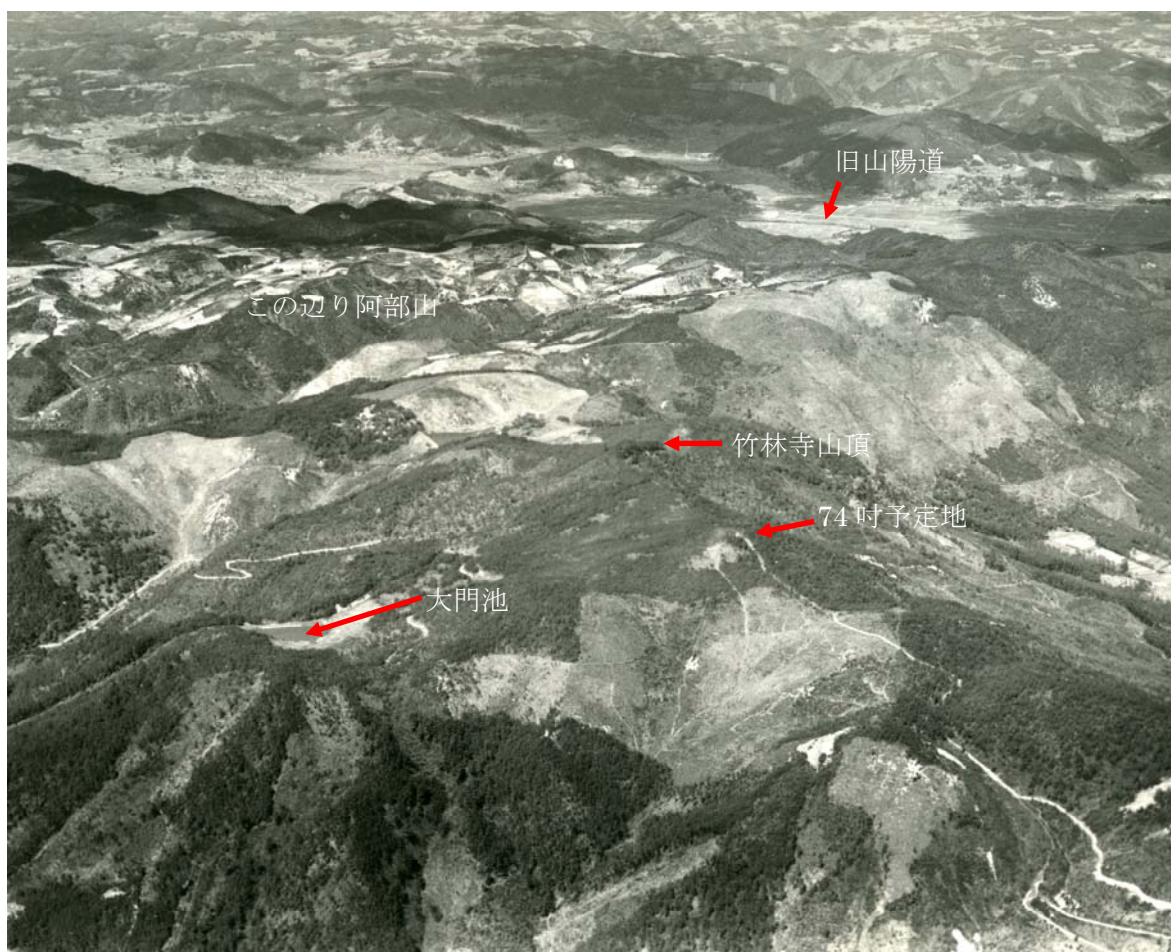


写真 1

写真 1 の上の紙には、6 : 大門池、7 : 竹林寺、9 : 74 吋竹林寺山、このほか番号がないが

安倍山という文字も入れてあった。これらは写真に文字入れをした。この航空写真を見ると、戦時中に山々の木々を伐採した様子が残っており、広い面積が「はげ山」になっていることが分かる。

この航空写真の次のページには、用水池工事情景と書かれた写真が4枚ある。岡山県南西部は雨量が少なくあちこちに用水池が点在している。東京から来た天文台関係者にとって用水池の工事は珍しかったのであろう。このアルバムに写真1~4が収められていた。この雨が少ないということが天文台建設地に選ばれた理由の一つである。この地が選ばれた最大の理由は「シーイング」という星の見え方がいいことである。



写真1



写真2



写真3



写真4

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp